

## 上映会＋「カラッポの会」総会ひらきます

### 相馬高校放送局「今、伝えたいこと」を聞きましょう

「カラッポの会」は11月2日(土)午後から、さいたま市「With You さいたま」で、上映会＋「カラッポの会」総会を開きます。

上映するのは震災、原発事故を体験した相馬高校の女子高校生たちがつくったドキュメント、演劇などの作品です。日本ジャーナリスト会議(JCJ)特別賞受賞、NHK杯高校放送ドキュメント「テレビドキュメント部門」優勝など話題を呼んでいます。上映と解説には相馬高校放送局顧問渡部義弘先生におこしいたします。

被災したとき中学生だった子どもたちが高校生として悩み成長する様子が、しっかりした構成をもって表現された作品です。

上映会終了次第「カラッポの会」総会を開催し、活動報告、これからの活動への出発の節目としたいと思います。会員の方はもちろん、知り合いの方やお友だちを誘ってご参加ください。お待ちしております(詳細チラシ準備中)。

## お母さんたちに直接「おうち」を案内



この夏観光客でにぎわった長瀬ですが、「カラッポのおうち」は福島からの利用申込みがありませんでした。「ほよ～ん相談会」など福島現地で保養情報を発信している団体に「カラッポのおうち」はすでに登録済みです。

そこで、事務局で相談して現地の事情を知るために、有志による福島訪問をおこないました。伺ったのは郡山のボランティア団体「FUKUSHIMAいのちの水」(2度目の訪問)。訪問日8月24日は赤ちゃんや子どもを連れてお母さん、お父さんたちが、つぎつぎに水を受け取りに来るペットボトル配布日。

有志三人は手分けして、配布作業お手伝い、「カラッポのおうち」案内チラシ渡し。郡山のお母さん、子どもたちに直接会って、声をかけ、お話しして「カラッポのおうち」ができたことを知らせてきました。

『「カラッポのおうち」ができました。放射能被害になやむご家族が、お子さんたちの保養、お母さんたちの休養に、いつでも使っていただくことができます』と声かけすると、頷いて「ありがとう」と声を返し、大事そうにチラシをもって帰るお父さんお母さん。その姿が印象的でした。現地のお母さんたちが保養場所の情報に強い関心を示していることを肌身で感じました。ホームページだけにたよるのでなく、フェイス・トゥ・フェイスが一番!

### ★大人の気持ち

「FUKUSHIMAいのちの水」倉庫に切れ目なしにやってくるお父さんやお母さんをこの目で確かめました。こんなに多くのお母さんたちが子どもに与える水について心配しているのだと思いました▼話してみると、埼玉県が車でなら、3時間ぐらいでいけることを若いお母さんお父さんはよく知っていました。「行ってみたい」と言う人も何人もいました▼でも「放射能被害」を口にする「復興の妨げになる」と顔をしかめられるとしたら、お母さんは保養や休養に出かけたいと軽々に言い出せない▼赤ちゃんや子どもを連れて出てくるには回りの理解や助けが必要です。根気よく「カラッポのおうち」と「大人の気持ち」をしっかりと発信し続けていこうと思えました▼『お母さん、私たちは決して見捨てません』：「いのちの水」倉庫入り口に、力強く書かれた紙が掲げられていました。(有志)

## ソバとコスモスの花が咲いています



「カラッポのおうち」のフェンスには家主さんの亡くなったお父さんが植えたぶどうがからんでいます。夏の間お客さんに食べてもらうとたくさん実をつけました（種あり）。しかし、福島からのお客さんはなく、会員のお客さんや管理人さんが食べてしまいました。残念！

秋をむかえて「おうち」の広場南の畑にコスモスとソバの花が咲き始めました。これは、家主さんがご近所にたのんで使わせてもらっている畑です。そこに管理人さんがコス

モスとソバの種を蒔き、いま、成長しているのです。東側の畑も同じように使わせていただくことになりました。こちらは、ただいま開墾中。

秋空のもと、土いじりや収穫作業で、ひとときをいっしょに過ごしましょう。「カラッポのおうち」はみなさんが来るのを楽しみに待っています。



## 洗濯機をいただきました



前号では冷蔵庫が入ったとお伝えしました。今度は洗濯機の寄贈がありました。「おうち」の洗濯機は二槽式で若いお母さんたちが使うのにはちょっと難ありでしたので会員のみなさんに呼びかけて洗濯機を募集していました。

寄贈は横浜の農家の方。まだそれほど使っていない洗濯機です。事務局は大喜びしています。シーツの洗濯、どろんこで遊んだ子どもたちの衣類洗いなどに活躍しそうです。

乗用車の寄贈の話もありましたが、車検が近づいていて「カラッポのおうち」の財政状態ではちょっと負担しきれないと判断して泣く泣くお断りしました。ごめんなさい。引きつづき、車の寄贈をお願いしますが、できれば、軽自動車ですと維持費などの負担が少ないので、お話がありましたら至急連絡してください。

みんなの「できること」があつまって「カラッポのおうち」も少しずつ使いやすくなっています。

## 「カラッポのおうち」専用振込口座できました

「カラッポの会」会員は増え続けています。これまで会費の振込は「カリーナ公演」名義の郵便口座に入れていただいていたのですが、専用口座をつくって受け付けることにしました。

専用口座は 【 00250-9-136022 カラッポの会 】 です。

「カラッポのおうち」は会員と利用者の会費とカンパによって運営されていきます。会費は最低限度（1000円/年）しかいただかず、できるだけ多くの方が会員になれるように設定されています。会員のいっそうの拡大に、みなさんのご協力をお願いします。カンパも広く受け付けます。

長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会・事務局 ◆連絡電話（FAXも） 045-933-1792（管理人 杉村長世）

◆郵便振込口座 00250-9-136022 カラッポの会

◆e-mail [karapponouti@gmail.com](mailto:karapponouti@gmail.com) ◆ホームページ検索は「カラッポのおうち」で

※ 管理人への連絡はできるだけメールか郵便（226-0021 横浜市緑区北八朔町1842-4）にてお願いします。